

そら組通信

お楽しみ会号②

帽子やお家が出来ると、日に日に表現したいことが形になり、活動が一層楽しく・活発になっています！

① 役のぼうしづくり

「格好良い傷をつけたい」と色を塗ったり、「可愛くしたい」とリボンをつけたりと個性豊かなぼうしが完成しました！



がおー！

完成した自分のぼうしに愛着を持ち、普段の遊びにも使ったり、「目はユニコーンの目なんだよ！可愛いでしょ♡」と友だちと見せ合っこしたりしています。

～あらすじ～

3匹の可愛いオオカミは家を建てますが、大ブタに何度も壊されてしまいます。それでも工夫して家をつくり続け、最後に建てた花のお家のおかげで気持ちが通じ合い、仲良く暮らせるようになるお話です。

② オオカミのお家

黒オオカミ[レンガのお家]

何を使ってお家を作っていくかと材料探しをしてみた子どもたち。すると何かの模様で切り抜かれている段ボールを発見！気に入る材料が見つかり、何色にするか、レンガの模様はどう描くか、一層イメージが膨らんでいっている様子でした♪



白オオカミ[お花のお家]

「絵本みたいに木の棒のところにお花を飾りたいな」と絵本のイラストを見ながら話をする子どもたち。お花は何で作るのか、今まで作った事のある作り方を



思い出す様子が見られました。お花があるところから「水やりもしたい」と話が進んでいました



③ 物語のポイント

「大ブタはどうして何度もお家を壊しているのかな？」

1人でさみしいからじゃない？

家に入りたくないじゃない？

それを言葉で言えなくて家を壊すってしちゃってるのか？

日常に子ども同士のトラブルとしてよくあるなど感じることを、子ども達は**大ブタの気持ちとして客観的に考えていました。**

グレーオオカミ[鉄やコンクリートのお家]

どんなお家にするかを話す中で、大ブタが来た時の対策を考える姿がありました！

大ブタが来たって見えるようにしたらいいんじゃない？

それならモニターがあつたらいいと思う！

いいかも！
それで、大ブタが来たってなったらお家の中で机とかに隠りたい！

と、物語の流れとお家づくりを繋げながら、どんどんお家作りもストーリーも広がっていました(^^)



絵本の中に出てくる“オオカミが急須を持って逃げる”という場面がお気に入りの子どもたち。急須でお茶を楽しむ場面もあり、そこと大ブタの行動が重なって、

本当は一緒にお茶飲みたくて、急須が欲しくて、何回もお家に行ってるのかなって思うな…

そんな話から、オオカミが大切にしている急須を大ブタが狙っているというストーリーがそら組の中で生まれました！